

平成30年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	三次市立八次小学校
-----	-----------

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- ① 食事のマナー（箸の持ち方・正しい姿勢）に課題のある児童がいる。
- ② アレルギー等による除去食が複雑多岐にわたる。除去食も含めて学校給食全体を通して「安全・安心・おいしい給食作り」を徹底して取り組む必要がある。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

- ① 食事マナーの指導を行うことで、「正しい姿勢（茶碗を持って食べる。）」70%以上をめざす。
正しい箸の持ち方の目標値70%以上をめざす。
- ② 安全・安心・おいしい給食の提供を行う。

3 食育の目標に対する具体的な取組

【取組1】（テーマ） 正しい姿勢、正しい箸の持ち方を定着させる。

- ① 保健給食委員会の児童のクラスへの訪問指導を行った。今年は、よい姿勢（茶碗を持って食べている。）箸を正しく持って食べていると思われる児童には、机の上に小さいシールを貼り、児童が評価をするという活動を行った。児童自身が意識して、姿勢よく食べていることが多く見られた。児童から「また、来てほしいな。」「楽しかった。」等の意見があった。

【取組2】（テーマ） 安全・安心・おいしい給食の提供を行う。

- ① 除去食については、前日の打合せを十分に行い、職員が共通認識をもって作業を行うことを順守し、最終の確認は複数で必ず行った。そのことが定着したことは、よかった。
- ② 学校・家庭・調理場が連携し情報を共有するよう取り組んだ。
- ③ 給食時間のクラス訪問や給食放送で、調理場職員の給食献立に寄せる思いを伝えた。

4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- ① 保護者対象の試食会に、今年の優秀レシピをとり入れた。
- ② 三次市内の児童・保護者を対象に料理教室を実施した。
- ③ 学校給食にも、年間を通してメニューに取り入れた。
- ④ 保健給食委員会とレシピの応募を行った。また、おやつレシピ集を活用して委員会で実習を行い、「食」への興味や関心を高めることが出来た。
- ⑤ 献立表などにおやつや朝食のレシピを掲載し、紹介した。家庭でも料理した児童もいた。

5 取組に対する成果と課題

【成果】

- ① 給食や「食」への興味、関心をもつ児童が少しずつ増えてきた。
- ② 児童と児童が関わりをもつことは、子供たちの向上心を育てる

【課題】

- ① 児童一人ひとりの家庭における食習慣が違い、「食」に関する課題は様々であるが、すべての児童に生きる力としての「食」を身に付けさせなければならない。
- ② 箸の持ち方については個人によってとらえ方に違いがあり、判断基準に課題である。

6 今後の取組に向けた改善方策について

- ① 食育の目標の設定等を見直す。(箸の評価は個人のとらえ方で差異がある。)
- ② 新年度初旬に委員会活動を生かした、児童による食育の指導を実施する。

